



はるにれ

海老名市立有馬小学校 学校だより
令和2年8月31日号

校長 村松 かおり

学校教育目標 夢をもって未来を切り拓く 調和のとれた子どもを育てる

1学期再スタート！

猛暑が続き、連日のように熱中症警戒アラートが発令された夏休みが終わり、子どもたちが元気に学校へ戻ってきました。「暑すぎるー！」「今年は田舎のおばあちゃんちに行けなくて残念。」「もうちょっと長いとよかったのにな。」・・・期間の短さに加え、熱中症とコロナウィルス感染症の予防もあって、例年の夏休みとはだいぶ様子の違う日々だったことが、言葉の端々から伝わってきます。それぞれのご家庭でも、予定の変更や健康に気を遣われることが多かったのではないのでしょうか。

学校では、休業期間に冷暖房設備の新設工事が一気に進められました。とはいえ、こちらも夏休み短縮の影響等で、今後も子どもたちの学校生活に支障がないように土日を中心として工事が継続し、各教室に設置された真新しい室内機が稼働するのは、暖房シーズンからになる見込みです。引き続き来校の際は正門のご利用をお願いいたします。

残念ながらいまだコロナ禍が収束に向かう気配はありませんが、基本的な予防対策を確実にしながら、まずは1学期の締めくくりとなる3週間が、子どもたちにとって充実した日々となるよう進めてまいります。これからもご理解、ご協力の程よろしくをお願いいたします。



新スタイルの掃除もスタート

通常清掃活動の中に消毒の効果を取り入れる国の考え方を受け、市から感染症予防に配慮した新しい清掃方法等が示されました。7月以降、有馬小の実態に合った清掃の仕方や、それに伴い必要となる用具等について入念に検討してきましたがようやく準備が整ったため、9月から児童による清掃活動を再開します。

換気・手洗い・マスク着用等の基本的な感染症対策を確実にしながら、床拭き掃除では清掃箇所に合わせて、新たにフローリングワイパーやモップを使用し、ポイントを絞った除菌作業も進めていきます。子どもたちが新しいやり方に慣れると同時に、清潔な空間を保ち健康的な生活を送ることの大切さを、清掃活動を通して意識できるように、指導・支援していきたいと考えています。



ようやく…の学校公開

何とか夏休み前に…と計画した7/29(水)～31(金)の学校公開日には、多くの保護者の皆様にご来校いただきました。様々な制約の中での参観となりましたが、学校再開から約2か月の足跡を、授業に臨む子どもたちの姿や展示作品等を通して、少しでも感じていただく機会となったのなら幸いです。検温の実施や来校者カードの提出、教室でのソーシャルディスタンスの確保等、ご協力ありがとうございました。

今後の学校行事等につきましても、大人数が集まることによる感染リスクの回避を工夫しながら、できる限り子どもたちの活動を見ていただく機会となるよう計画していく予定です。

★ ★ ★ ★ ★
＜展示作品紹介＞



ひまわり級「ひまわりの夏」



1年「なが〜〜いかみから」



3年「ふしぎな乗りもの」



← 5年
「季節を感じて」



昇降口前や階段掲示板には、6年生が国語の学習「私たちにできること」で取り組んだコロナウィルス対策に関するレポートやポスターが掲示され、チラシも置かれていました。「今」ならではのテーマによる実感のこもった学びの跡が窺え、とても頼もしく思いました。